



# 高松次郎

## 平面上の空間-無と全体性のドラマ



装幀・カット・「平面上の空間」、1977 / ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates, Tokyo, Pace Gallery, New York and Stephen Friedman Gallery, London

2024年9月10日(火)-10月19日(土)

Yumiko Chiba Associates

東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F  
営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日

このたび、Yumiko Chiba Associates では、高松次郎の「平面上の空間」シリーズに焦点をあてた個展「平面上の空間-無と全体性のドラマ」を開催します。

高松次郎は、1970年代後半から展開される「平面上の空間」シリーズにおいて、「影」シリーズ以来はじめて絵画に回帰しました。この絵画シリーズを開始する以前、高松は鉄や角柱を組み合わせた立体作品である「複合体」シリーズを制作していました。

「平面上の空間」において高松は、鉄を接いだ立体物の形態や、鉄の立体にぶらさがった紐が描く軌跡をヒントにして、絵画平面に線を引いていきます。そのため、「平面上の空間」は、彫刻から絵画への転回、あるいは絵画への回帰というよりも、立体と平面との関係を思考するものであったとも言えます。それは、文字通り、立体作品における三次元の空間と、二次元の「平面上の空間」との関係を検証するものでした。

さらに、直線や曲線が画面の上で交わり、そこから色や形を発生させる「平面上の空間」は、のちのよりドラマティックな「形」シリーズなどの絵画の誕生をも予見するものでした。

高松次郎と絵画との関わりを示す重要な作品群を、この機会にぜひご覧下さい。



## 高松次郎の言葉（「無と全体性のドラマ」より）

無というものは、結局のところトータリティ（＝全体性）を目指しているように思う。ぼく自身、以前はキャンバスがあるということ、あるいはさまざまな物体や文字が存在するというを個別的に無化してゆく作業をしていたが、今度は逆に、トータリティを目指すことによって、無であると同時に全体であるような方向の作業だと思っている。

＝中略＝

『平面上の空間』もまた、フリーハンドの曲線となって黄色い線、黒い線、緑や赤の線を延々と重ね描きする。その場合、そこに色彩と形態が生まれると、それらに過去の記憶、感情、イメージなどがいろいろと絡まってくる。平面上に線や形、色彩を使うことで、人間と世界との関係の中で起こりうることを想像力によって取り込んでいくのである。

高松 次郎

\* 「無と全体性のドラマ」（『is』ポークラ文化研究所、第42号、1988年12月）より抜粋

## ■関連情報

### 【個展】

#### 「Jiro Takamatsu: The World Expands」

会期: 9月20日(金) - 11月2日(土)

会場: PACE Gallery (ニューヨーク、アメリカ)

### 【グループ展】

#### 「アブソリュート・チェアーズ 現代美術のなかの椅子なるもの」

会期: 7月18日(木) - 9月23日(月)

会場: 愛知県美術館、愛知

#### 「Nerhol 展関連コレクション展 Coexistence」

会期: 9月6日(金) - 11月4日(月)

会場: 千葉市美術館、千葉

#### 「西日本シティ銀行コレクション展」

会期: 9月14日(土) - 10月14日(月)

会場: 福岡市美術館、福岡

## ■アーティストプロフィール

### 高松 次郎

1936 東京に生まれる。  
1958 東京藝術大学(美術学部絵画科油画専攻)卒業。  
1998 歿。

### 主な展覧会

1966 「高松次郎“アイデンティフィケーション”」東京画廊、東京\*  
1968 「第34回ヴェネツィア・ビエンナーレ」ヴェニス、イタリア  
1969 「第6回パリ青年ビエンナーレ」Musée d' Art Moderne de la Ville de Paris、パリ、フランス  
1970 「第10回日本国際美術展 人間と物質」東京都美術館、東京/京都市美術館、京都/愛知県文化会館、愛知/福岡市文化会館、福岡  
1971 「第6回グッゲンハイム国際美術展」Solomon R. Guggenheim Museum、ニューヨーク、アメリカ  
1973 「第12回サンパウロ・ビエンナーレ」サンパウロ、ブラジル  
1977 「ドクメンタ6」カッセル、西ドイツ  
1980 「現代の作家2 高松次郎・元永定正」国立国際美術館、大阪  
1995-96 「1970年—物質と知覚 もの派と根源を問う作家たち」岐阜県美術館、岐阜/広島市現代美術館、広島/北九州市立美術、福岡/埼玉県立近代美術館、埼玉



- 1996 「高松次郎の現在」新潟市美術館、新潟／三鷹市美術ギャラリー、東京\*
- 1999 「高松次郎ー「影」の絵画とドローイング」国立国際美術館、大阪\*
- 2000 「高松次郎 1970年の立体を中心に」千葉市美術館、千葉\*
- 2003 「再検証・高松次郎絵画作品～アトリエより～」三鷹市美術ギャラリー、東京\*
- 2004 「高松次郎ー思考の宇宙」府中市美術館、東京／北九州市立美術館、福岡\*
- 2005 「横浜トリエンナーレ 2005 アートサーカス[日常からの跳躍]」横浜、神奈川
- 2006 「高松次郎 影のドローイング」ミヤケファインアート、東京\*
- 2008 「Daiwa Press Viewing Room vol. 08 『3,918 drawings by Takamatsu Jiro』」ビューイングルーム 大和プレス、広島\*
- 2009 「第5回太宰府天満宮アートプログラム 高松次郎 | 鷹野隆大「写真の写真」と写真」太宰府天満宮、福岡
- 2010 「Jiro Takamatsu Shadow Paintings」McCAFFREY FINE ART、ニューヨーク、アメリカ\*
- 「Jiro Takamatsu Early Works」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京\*
- 2011 「Jiro Takamatsu」McCAFFREY FINE ART、ニューヨーク、アメリカ\*
- 「光と影」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京\*
- 「言葉とものー純化とトートロジーー」NADiff Gallery、東京\*
- 「1970年代へ写真と美術の転換期 複写 反射 投影 I 期 写真を選ぶ：視覚の点検」ユミコ チバ アソシエイツ/ビューイングルーム新宿、東京
- 2012 「万物の碎き」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京\*
- 「この七つの文字」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京\*
- 2013 「JIRO TAKAMATSU」STEPHEN FRIEDMAN GALLERY、ロンドン、イギリス\*
- 「遠近法ー平面上の空間」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京\*
- 2013-14 「ハイレッド・センター「直接行動」の軌跡展」名古屋市美術館、名古屋/渋谷区松涛美術館、東京
- 2014 「Cazador KURAMATA Shiro/TAKAMATSU Jiro Photographed by FUJITSUKA Mitsumasa」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 「高松次郎ミステリーズ」東京国立近代美術館、東京\*
- 2015 「高松次郎 制作の軌跡」国立国際美術館、東京\*
- 「イメージに置ける主語の不在ー文字、写真の作品よりー」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京\*
- 「JIRO TAKAMATSU」STEPHEN FRIEDMAN GALLERY、ロンドン、イギリス\*
- 2016 「JIRO TAKAMATSU」Kayne Griffin Corcoran、ロサンゼルス、アメリカ\*
- 「高松次郎 アトリエを訪ねて」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 2016-17 「JIRO TAKAMATSU : FROM SHADOW TO COMPOUND」Fergus McCaffrey、ニューヨーク、アメリカ\*
- 2017 「ハイレッド・センター Hi-Red Center - through photographs and works」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 「Jiro Takamatsu: The Temperature of Sculpture」Henry Moore Institute、リーズ、イギリス\*
- 「JIRO TAKAMATSU ANNUAL PROJECT HI-RED CENTER: THROUGH PHOTOGRAPHS」Kayne Griffin Corcoran、ロサンゼルス、アメリカ\*
- 2018 「象る、象られる。」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 「Between the Lines」- Jiro Takamatsu, Agnes Martin, and Sol LeWitt」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 2018-19 「Minimalism: Space. Light. Object.」National Gallery Singapore、シンガポール
- 2019 「Robert Morris - Jiro Takamatsu & Robert Morris from the 1970's」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム新宿、東京
- 「INSIDE OUT: JIRO TAKAMATSU AND KEIJI UEMATSU IN CONVERSATION / An exhibition of post-war Japanese sculpture, Royal Society of Sculptors」Dora House、ロンドン、イギリス
- 「DECODE/出来事と記録 - ポスト工業化社会の美術」埼玉県立近代美術館、埼玉
- 2020 「高松次郎 / デイヴィッド・シュリグリー: レンガと脚立とネオン」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 2021 「高松次郎、鷹野隆大、オノデラユキ、椎原治、ヴォルス、ウジェーヌ・アジェ: 写真の写真と写真」ユミコ チバ アソシエイツ ビューイングルーム 新宿、東京
- 「Jiro Takamatsu: Space in Two Dimensions」Stephen Friedman Gallery、ロンドン、イギリス\*
- 2022 「ヴォイド オブ ニッポン 77 戦後美術史のある風景と反復進行」GYRE GALLERY、東京
- 2023 「Sol LeWitt | Jiro Takamatsu: Line for Earth Project」ユミコ チバ アソシエイツ、東京
- 2023-24 「印刷/版画/グラフィックデザインの断層 1957-1979」国立工芸館、石川/京都国立近代美術館、京都
- 2024 「アブソリュート・チェアーズ」埼玉県立近代美術館、埼玉/愛知県美術館、愛知
- 「Jiro Takamatsu: The World Expands」PACE Gallery、ニューヨーク、アメリカ\*

※表記末尾に「\*」がついているものは個展

## 主な所蔵先

Tate Modern, The Museum of Modern Art, New York, Solomon R. Guggenheim Museum, Minneapolis Institute of Arts, Dallas Museum of Art, Glenstone Museum, Instituto Inhotim, Art Institute Chicago, New England Regional Art Museum, J. Paul Getty Museum, The Metropolitan Museum of Art

東京国立近代美術館、国立国際美術館、東京都現代美術館、府中市美術館、三鷹市美術ギャラリー、いわき市立美術館、神奈川県立近代美術館、埼玉県立近代美術館、静岡県立美術館、新潟県立近代美術館、豊田市美術館、兵庫県立美術館、滋賀県立近代美術館、高松市美術館、千葉市美術館、DIC川村記念美術館、広島市現代美術館、香川県立ミュージアム、目黒区美術館

【本展に関するお問い合わせ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ

〒106-0032 東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズハリウッドビューティープラザ 3F

[Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日